

千葉真由佳の 知りたい！ひらかわ

私、千葉真由佳が平川市の魅力を取材し、深堀りします！
今後も平川市におじゃましますので、お楽しみに！



千葉 真由佳 (ちば・まゆか)
青森県出身の cent.Force (セント・フォース) 所属アナウンサー。TBS「THE TIME」出演など全国的にメディア出演実績あり。地元愛が強く、県内でもイベント司会やキャリア講師、観光 PR など多方面で活躍中。

今回は 農家民泊

5 月下旬、台湾の高雄市から中学生のみなさんがやってきました。なんと！修学旅行の旅先として、農家民泊にも注力している平川市金屋地区が選ばれたんです。青森の学校の修学旅行は函館や東京、大阪など国内での思い出がある人が多いと思いますが、高雄の中学生が平川で仲間とどんな思い出を作り、どんな体験を持ち帰ったのでしょうか？気になるその様子をお届けします！

りんご畑で育む食育への想い

りんご畑の坂道を駆け上っていく女子生徒 4 人組。農家民泊を受け入れる佐藤正道さんと千鶴子さん夫婦のもとで、美味しいりんごを育てるための「摘果」に初挑戦です。佐藤さんが「一番大きな花芽を残して取るんだよ」と身振り手振りを交えながら教えると生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、中心花の周りの花芽を摘み取っていきました。



「見た目は簡単そうだったけど、難しい」と苦労をにじませつつも、「貴重な体験でよかった、家族にも伝えたい」と満足げな様子。

平川市について「りんごが有名だと知っていた」と話す中、青森のりんごは食べたことがないという生徒も。

秋に収穫される新鮮なりんごを食べる日を楽しみにしているようでした。

佐藤さんご夫妻は修学旅行生との言葉の壁をスマートフォンの翻訳アプリや「オーバーアクション」で乗り越えているそう。この体験を通して「食物は命を繋ぐもの。食べ物を作る人への畏敬の念を持つことの大切さを伝えたい」と話します。台湾の百貨店などでは 1 個 800 円でも売られている青森りんご。様々な苦労があって果物ができるということを生徒たちも実感した時間となりました。



お寿司到天ぷら！夕食作りで学ぶ平川のぬくもり

続いては、菅原智明さんと久留美さんの自宅へ。取材班が訪れると、夕食作りに取り組む 2 人の男子生徒の姿が！

この日のメニューは、平川で採れたワラビやフキの炒め物や天ぷら。そして、家庭でお寿司ができる便利グッズを活用したお楽しみ感満載の

日本食です。卵をかき混ぜたり、炒めるなどの作業を習います。台湾の家庭では自炊をする機会が少なく、夕食はお弁当や屋台で済ませる日が多いとのこと。料理経験はこの日が初めて！途中、調理に使うピーマンを指さして台湾語では「チンジャオ」だと生徒たちが話すと、夫婦が「おお！チンジャオロースだもんね」と目を輝かせ、キッチンに笑顔が広がりました。



好きな日本料理は口を揃えて「豚骨ラーメン」と答えた 2 人。日本食にも興味があり、修学旅行を楽しみにしていたそう。調理の他、苗植えの作業や久留美さんによるお茶の体験も行ったということです。『また来たい』と言ってもらえるのが一番のやりがいだと語る菅原夫婦。平川での日常に触れるおもてなしは 2 人の男子生徒の心に深く刻まれた 1 日になったのではないのでしょうか。

